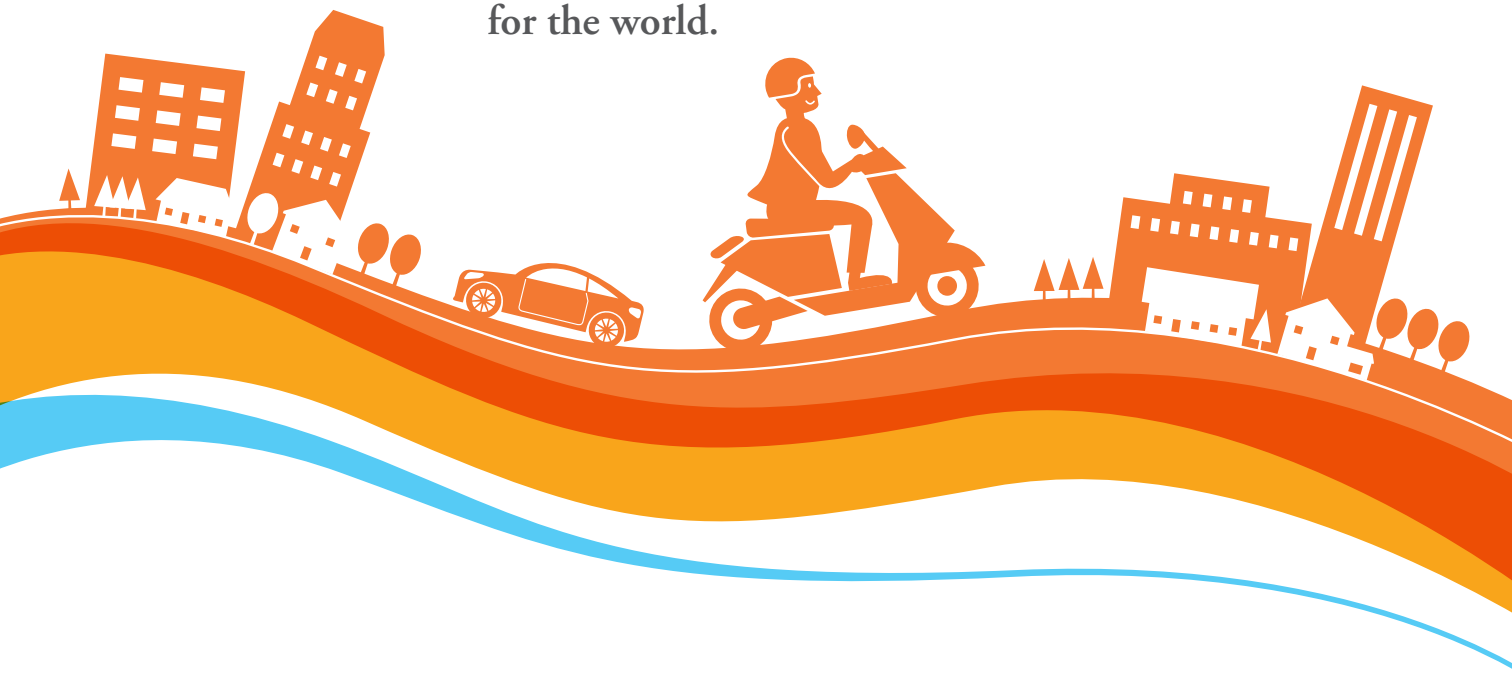
2017
中間報告書

2017年4月1日～2017年9月30日

Clutch technology
for the world.



証券コード：7296

クラッチ市場で明日へつなぐ、世界のリーディングカンパニー

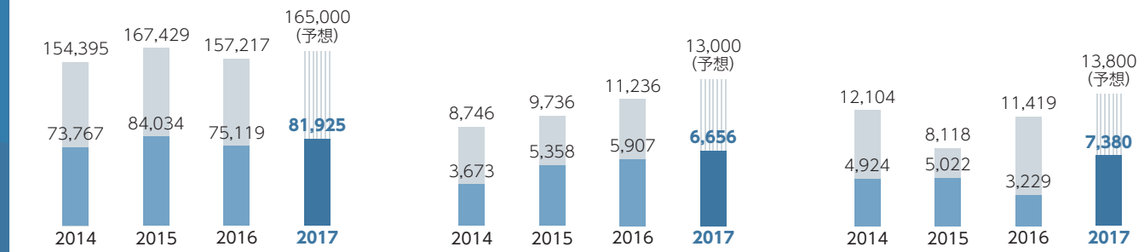
CLUTCH F.C.C. TECHNOLOGY

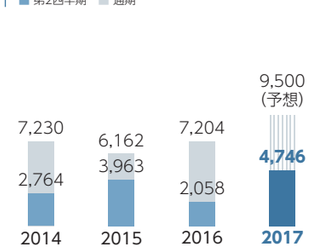
- **独自の生産技術「セグメント方式」**
  クラッチ生産の効率化と品質の向上に飛躍的な進化をもたらした生産システム
- **摩擦材開発からの「一貫生産体制」**
  摩擦材の開発から組み立てまで、一貫工程。品質・コストに対する顧客の要求を満たす、提案力の源
- **グローバルな生産体制 世界規模の提案力**
  海外10ヶ国の生産拠点ネットワークで、各地の需要にすみやかに対応、それぞれの市場・需要にあわせた製品を提案
- **世界基準の品質管理・環境対策**
  独自の品質管理体制を実現、グローバル展開することで、世界トップレベルのクオリティーと環境対策を実行

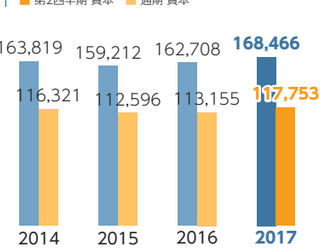
二輪車用クラッチ 世界シェア **No.1**

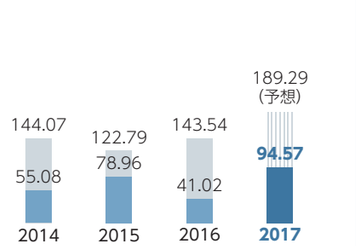
グローバルネットワーク 海外10ヶ国 14社 **22 生産拠点**

海外売上収益比率 **89.4%**









To Our Shareholders

ごあいさつ

代表取締役社長

松田年真

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。2017年度第2四半期の事業内容を報告するにあたりまして、ご挨拶申しあげます。

当第2四半期連結累計期間の業績は、インドの二輪車用クラッチの販売が増加したことに加え、米国のフォード向けや中国の四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は819億25百万円(前年同期比9.1%増)、営業利益は66億56百万円(前年同期比12.7%増)となりました。税引前四半期利益は、前期に計上した為替差損の影響が無くなったことにより73億80百万円(前年同期比128.6%増)となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は47億46百万円(前年同期比130.5%増)となりました。

中間配当金につきましては、業績等を総合的に勘案し1株当たり21円、前年同期に比べ1円の増配とさせていただきました。

今後の経営環境は、燃費規制への対応や電動化技術の進展に伴う部品メーカー間のグローバルな競争はますます激しくなっていくものと思われますが、本年を初年度とする第10次中期経営計画を着実に実行し、圧倒的な競争力を持つ企業体質を構築してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援を賜りますようお願い申しあげます。

2017年11月

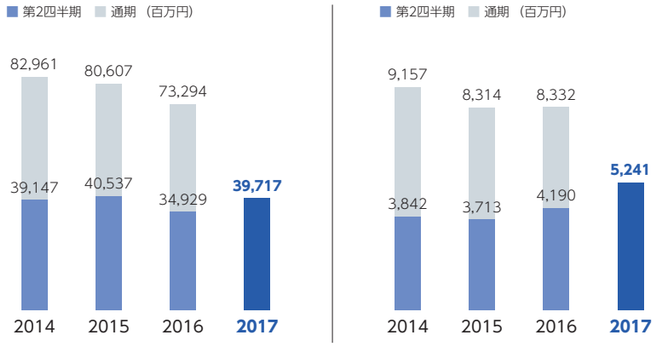
二輪車用クラッチ

売上収益

39,717 百万円

営業利益

5,241 百万円

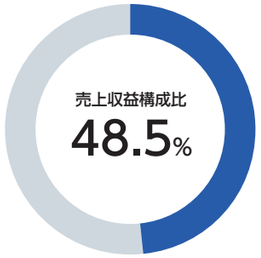


インドやベトナムの二輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は39,717百万円（前年同期比13.7%増）、営業利益は5,241百万円（前年同期比25.1%増）となりました。

製品情報

オートバイに使用される多板クラッチとスクーターに使用される遠心クラッチ等があります。ビジネス・レジャー・スポーツ・レース等の使用目的にあわせ、50ccから2000ccを超える排気量に対応する豊富な種類をご用意しています。その他に、ATV用クラッチや汎用機用クラッチ等があります。

※ATV:All Terrain Vehicle（バギー）



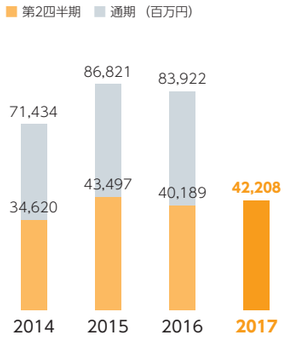
四輪車用クラッチ

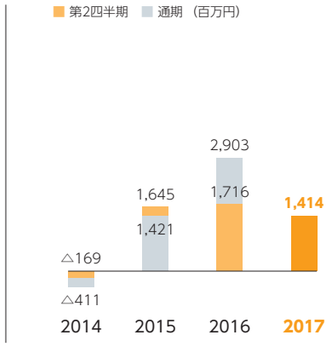
売上収益

42,208 百万円

営業利益

1,414 百万円

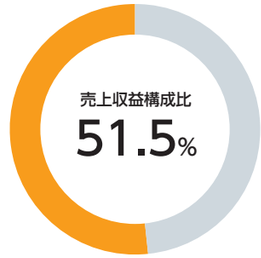




米国においてホンダ向けの四輪車用クラッチの販売が減少したものの、フォード向けの四輪車用クラッチの販売が増加したことに加え、中国の四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は42,208百万円（前年同期比5.0%増）となりました。営業利益は、米国のホンダ向けの減収影響に加え、メキシコの固定費や操業費が増加したこともあり1,414百万円（前年同期比17.6%減）となりました。

製品情報

オートマチックトランスミッション（AT）用クラッチ、マニュアルトランスミッション（MT）用クラッチ、トルクコンバーター用ロックアップクラッチ、CVT用クラッチ、4WD用デフクラッチ等があります。



TOPICS

インド グジャラート州に新工場を建設

今後の成長が期待されるインド市場において、生産能力の増強や生産効率の向上を図ることを目的に、グジャラート州アーメダバードに新工場を建設しております。インドでは7つの工場で事業を展開しておりますが、アーメダバードのレンタル工場を自社工場での生産に切り替えます。レンタル工場ではインド国内にある他工場から構成部品を調達し、クラッチの組立を手がけておりましたが、新工場ではクラッチの構成部品から組立まで一貫生産を行い、物流コストの削減や生産効率の向上を図ることで製品競争力の強化につなげてまいります。

所在地	グジャラート州、アーメダバード
敷地面積	32,000㎡
建屋面積	7,760㎡
主要生産品目	二輪車用クラッチ
量産開始時期	2018年3月（予定）

広州汽車からPHEV用クラッチを新規受注

当社の中国における子会社、佛山富士離合器有限公司が広州汽車集団乗用車有限公司からプラグインハイブリッド電気自動車（PHEV）用オーバードライブクラッチアッセンブリーを新規に受注し、本年5月より量産を開始しました。
本件は、当社として初の広州汽車向けの受注であり、今後も同社との関係を強化し、更なる取引拡大に努めてまいります。ハイブリッド車用のクラッチは従来からホンダ向けに納入しておりますが、今後も電動化に対応した技術開発を積極的に進めてまいります。

納入品目	広州汽車PHEV用オーバードライブクラッチアッセンブリー
量産開始時期	2017年5月

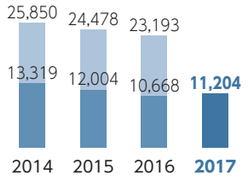
世界に羽ばたく F.C.C.のネットワーク

1988年、ジェイテックインコーポレイテッド※(米国インディアナ州)の設立を皮切りに、いまF.C.C.は海外10ヶ国、14社、22生産拠点のラインナップで全世界のニーズに対応しながら、ハイクオリティー、ローコストな製品づくりを目指しています。
これによってそれぞれの市場に対応するだけでなく、生産技術を高いレベルに保った相互補完システムをも構築し、より強固な供給体制を確立しました。

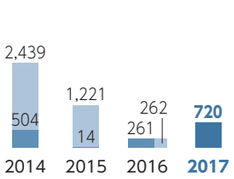
※ 現 FCC(INDIANA), LLC.

日本 Japan

売上収益 (百万円)



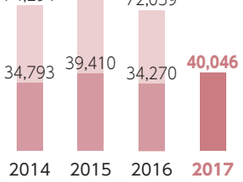
営業利益 (百万円)



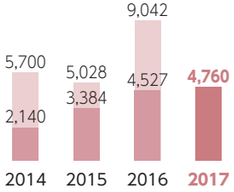
二輪車用クラッチ、四輪車用クラッチの販売がともに増加したこともあり、売上収益は11,204百万円(前年同期比5.0%増)、営業利益は720百万円(前年同期比175.4%増)となりました。

アジア Asia

売上収益 (百万円)



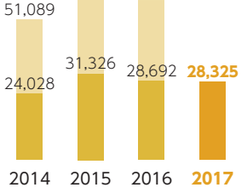
営業利益 (百万円)



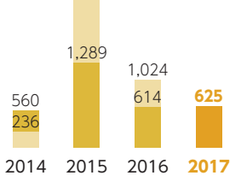
インドやベトナムの二輪車用クラッチの販売が増加したことに加え、中国の四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は40,046百万円(前年同期比16.9%増)、営業利益は4,760百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

米国 America

売上収益 (百万円)



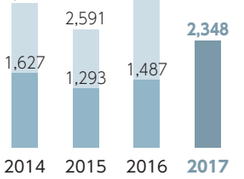
営業利益 (百万円)



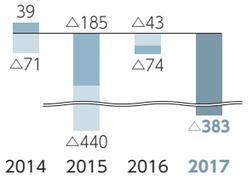
フォード向けの四輪車用クラッチの販売が増加したものの、ホンダ向けの四輪車用クラッチの販売が減少したこともあり、売上収益は28,325百万円(前年同期比1.3%減)となりました。営業利益は、操業費が減少したこともあり625百万円(前年同期比1.8%増)となりました。

その他 Others

売上収益 (百万円)



営業利益 (百万円)



メキシコの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は2,348百万円(前年同期比57.9%増)となりました。営業損益は、メキシコの固定費や操業費が増加したこともあり383百万円の営業損失(前年同期は74百万円の営業損失)となりました。

要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

科　目	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	23,474	23,848
営業債権及びその他の債権	26,986	28,743
その他の金融資産	1,294	2,376
棚卸資産	17,961	19,497
その他の流動資産	1,905	1,886
流動資産合計	71,620	76,352
非流動資産		
有形固定資産	74,521	74,423
のれん及び無形資産	3,408	4,163
持分法で会計処理されている投資	140	124
その他の金融資産	9,389	9,948
繰延税金資産	2,983	2,822
その他の非流動資産	644	631
非流動資産合計	91,087	92,114
資産合計	**162,708**	**168,466**

科　目	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	14,373	15,421
借入金	13,266	14,306
その他の金融負債	103	123
未払法人所得税	2,095	2,312
その他の流動負債	5,812	6,004
流動負債合計	35,652	38,167
非流動負債		
借入金	4,040	1,926
その他の金融負債	607	543
退職給付に係る負債	2,021	2,238
引当金	36	33
繰延税金負債	6,863	7,477
その他の非流動負債	333	325
非流動負債合計	13,901	12,544
負債合計	**49,553**	**50,712**
資本		
資本金	4,175	4,175
利益剰余金	104,908	108,651
自己株式	△3,409	△3,409
その他の資本の構成要素	5,949	6,831
親会社の所有者に帰属する持分合計	111,624	116,249
非支配持分	1,530	1,504
資本合計	**113,155**	**117,753**
負債及び資本合計	**162,708**	**168,466**

要約四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科　目	前第2四半期連結累計期間 自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日
売上収益	75,119	81,925
売上原価	△63,006	△68,185
売上総利益	12,112	13,739
販売費及び一般管理費	△6,473	△7,330
その他の収益	369	406
その他の費用	△102	△159
営業利益	5,907	6,656
金融収益	381	835
金融費用	△3,056	△106
持分法による投資損益	△2	△4
税引前四半期利益	3,229	7,380
法人所得税費用	△854	△2,528
四半期利益	2,374	4,851
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,058	4,746
非支配持分	315	105
四半期利益	2,374	4,851
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	41.02	94.57
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科　目	前第2四半期連結累計期間 自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,596	10,759
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,879	△8,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,947	△2,382
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	768	183
現金及び現金同等物の期首残高	23,450	23,474
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,201	190
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,017	23,848

2017年度(2018年3月期)の連結業績予想

売上収益	1,650億円 (前期比	5.0%)
営業利益	130億円 (前期比	15.7%)
税引前利益	138億円 (前期比	20.8%)
親会社の所有者に帰属する当期利益	95億円 (前期比	31.9%)
基本的1株当たり当期利益	189.29円	

ホームページのご案内

http://www.fcc-net.co.jp/

FCC　検索

TOPページ

IR情報

株式の状況

2017年9月30日現在

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	52,644,030株
株主数	16,214名
単元株式数	100株
証券コード	7296

大株主（上位10名）

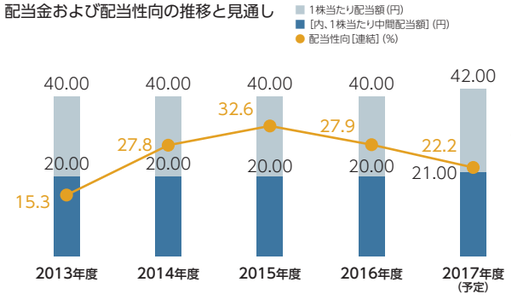
2017年9月30日現在

		持株数（千株）	持株比率（%）
1	本田技研工業株式会社	10,881	21.7
2	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口）	2,508	5.0
3	株式会社ワイ・エー	2,019	4.0
4	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,733	3.5
5	山本佳英	1,535	3.1
6	みずほ信託銀行株式会社退職給付信託　みずほ銀行口再信託受託者　資産管理サービス信託銀行株式会社	1,315	2.6
7	山本惠以	1,300	2.6
8	THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	1,087	2.2
9	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,083	2.2
10	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	935	1.9

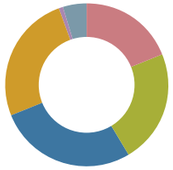
（注）1. 当社は自己株式を2,455,809株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

配当政策および配当金

配当金および配当性向の推移と見通し

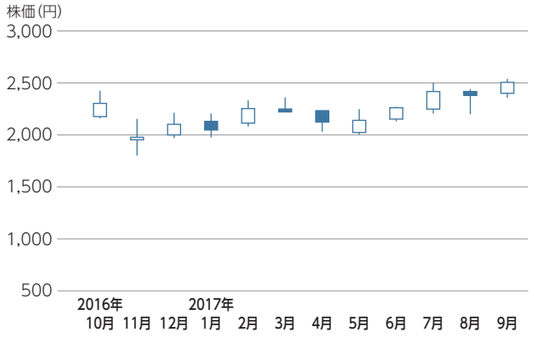


所有者別状況



	持株数（千株）	持株比率（%）
個人・その他	9,954	18.9
金融機関	11,945	22.7
その他国内法人	14,422	27.4
外国法人等	13,532	25.7
証券会社	333	0.6
自己名義株式	2,455	4.7

株価の推移



［配当政策］
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、将来の成長のために必要な設備投資や研究開発を行い、会社の競争力を維持、強化することで企業価値の向上に努めるとともに、連結業績や配当性向等を総合的に勘案し、安定した配当を継続することを基本方針としております。

［配当金］
本年10月27日開催の取締役会の決議により、当期の中間配当金を1株当たり21円とさせていただくことになりました。

会社概要

商　　号	株式会社エフ・シー・シー（英文：F.C.C. CO.,LTD.）
本　　社	静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36 TEL：053-523-2400㈹
資 本 金	41億75百万円
代 表 者	代表取締役社長　松田年真
設　　立	1939年（昭和14年）6月
従業員数	8,371名（連結）　2017年9月30日現在
事業内容	二輪車および四輪車のクラッチならびにその他の部品の製造販売

役　員

2017年9月30日現在

代表取締役社長	松田	年真
常務取締役	斎藤	善敬
常務取締役	糸永	和広
常務取締役	鈴木	一人
取締役	松本	隆次郎
取締役	向山	敦浩
取締役	中谷	賢史
取締役	井上	憲一
取締役　常勤監査等委員	鈴木	宏典
取締役　常勤監査等委員	深津	克好
取締役　監査等委員	辻	慶典
取締役　監査等委員	佐藤	雅秀
取締役　監査等委員	杉山	一統

辻 慶典、佐藤雅秀および杉山一統の各氏は、社外取締役であります。

主な子会社

〔国内生産会社〕

㈱九州エフ・シー・シー	天龍産業㈱
東北化工㈱	㈱フリント

〔海外生産会社〕

FCC（INDIANA），LLC.	［米国］	FCC（North Carolina），LLC.	［米国］
FCC（Adams），LLC.	［米国］	FCC（THAILAND）CO., LTD.	［タイ］
FCC（PHILIPPINES）CORP.	［フィリピン］	成都永華富士離合器有限公司	［中国］
上海中瑞・富士離合器有限公司	［中国］	FCC CLUTCH INDIA PRIVATE LTD.	［インド］
PT. FCC INDONESIA	［インドネシア］	台灣富士離合器股份有限公司	［台湾］
FCC DO BRASIL LTDA.	［ブラジル］	佛山富士離合器有限公司	［中国］
FCC（VIETNAM）CO., LTD.	［ベトナム］	FCC AUTOMOTIVE PARTS DE MEXICO, S.A. DE C.V.	［メキシコ］

〔持株会社・統括会社〕

FCC（North America），INC.	［米国］	愛富士士（中国）投資有限公司	［中国］

事業所所在地

本　　社	〒431-1394	静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
技術研究所	〒431-1304	静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の46
生産技術センター	〒431-1304	静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の78
細江工場	〒431-1394	静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
浜北工場	〒434-0046	静岡県浜松市浜北区染地台6丁目1番1号
渡ケ島工場	〒431-3423	静岡県浜松市天竜区渡ケ島1500番地
鈴鹿工場	〒510-0261	三重県鈴鹿市御薗町5421番地
東京オフィス	〒351-0021	埼玉県朝霞市西弁財1丁目1番5号 金子ビル1階
大阪オフィス	〒563-0046	大阪府池田市姫室町1番1号 池田YMビル402
栃木オフィス	〒321-3226	栃木県宇都宮市ゆいの杜1丁目5番40号 とちぎ産業創造プラザ内102

F.C.C. YouTube公式チャンネルのご案内

「人と世界をつなげるストーリー」

Web限定ムービーを公開中です。

QRコードからアクセス！

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告により行います
定時株主総会	6月	ホームページアドレス	http://www.fcc-net.co.jp/
剰余金の配当基準日	3月31日 中間配当を実施する場合　9月30日	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号
単元株式数	100株	特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社

お取扱窓口	お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。
特別口座管理機関お取扱店	みずほ証券およびみずほ信託銀行(※) フリーダイヤル　0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00～17:00) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※)　本店および全国各支店 みずほ銀行　本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

[配当金計算書について]

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。
確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

株主優待制度について

株主優待制度の内容

(1)対象となる株主様

毎年3月31日、9月30日現在の株主名簿に記録された200株以上ご所有の株主の皆様を対象といたします。

(2)贈呈品

	贈呈品	送付時期
3月31日現在の株主様	2,500円相当の地元特産品	5月中旬
9月30日現在の株主様	2,500円相当の地元特産品	12月中旬から下旬

※所有株式数にかかわらず、200株以上ご所有の株主様一律の内容です。

株式会社 エフ・シー・シー

本　社　〒431-1394 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
TEL(053)523-2400(代)　FAX(053)523-2405
http://www.fcc-net.co.jp/

VEGETABLE OIL INK

UD FONT　見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォントを採用しています。